

第2回

[日 時] 平成26年6月21日（土）18:30~20:30

[場 所] 石巻専修大学2号館 2階2206教室

[テーマ] 世界に誇れる石巻をつくろう2

[使用したテキスト]

- ・『耕人』H26_2.pdf（塾長から塾生へのメッセージ：第2号）

[活動内容詳細]

18:30 開会の挨拶、ショート講話（木村塾長）

概要

- ・「われ太平洋の橋とならん」と答えた新渡戸稲造がこの志を一生涯貫いたことに触れる。
- ・日本人の考え方・善悪の観念等、諸外国に紹介した名著「武士道」を紹介。
- ・人に感動を与え、人の心を動かすのは足下の小さなことを実行すること
(例.ワールドカップブラジル大会で、試合後に競技場でごみを拾う日本人サポーター。)



【新渡戸稲造の「武士道」を紹介する塾長】

18:45 アイスブレイキング（稲辺指導副委員長）

名刺交換をして、早く名前と顔を一致させよう！ もらった名刺を本人に返せるかな？



午後7時ころ、陸上競技大会後加わる塾生もいて、ほぼ全員が揃う。
塾生をだましている先生を、グループで協力して探し出そう。4グループごと意見が分かれる。





最後に、心を引き締めよう。全員が立ち、目をつぶる。そして、30秒経ったと思ったら座る。

19:10 班別討議に当たって（平塚指導委員長）

概要：日本の小・中・高校生は、掃除をするのが当たり前。世界では、少数派。自分たちの間では当たり前のことも、他の人や他の国から見ると“よさ”と映る場合もある。日本人として長年培ってきた文化などにも目をつけることも、石巻のよさを発信する観点に持ってほしい。

班別討議（塾生の中高生に、指導補助員の大学生、指導委員の先生方が加わる）

20:15 1時間のグループ討議の後、リーダーより発表。





<各グループより>

- ・人がたくさん集まる『川開き』の清掃活動を行う。この活動で感じたことをHPに立ち上げ世界に発信したい。
- ・「地元や周りの人なもっと石巻を好きになってもらいたい」を最終ゴールにする。活動目的にそうよう人目のつく場所を清掃する。綺麗になった浜辺で石巻の海をPRしたい。
- ・川開きの当日、駅前通りであいさつを行う。挨拶をしながら、パンフレットを配り、歴史や伝統について伝える。さらに、祭りを終えた後に、清掃活動を行う。石巻をよくするためという目的を見失わず、次に生きる活動を目指す。
- ・まず、自分たちが、石巻のよさを知ろうということで、各々が意見を出し合った。結構な数である。ぜひ、周りの人や学校の友達にも聞くともっとよさが出てくるであろう。それらを含めて、石巻のよさを知ったうえで、より多くの周りの人に、ポスターなどを使って発信していきたい。できることから小さな一歩を踏み出したい。次回までにもう一度会を開きテーマを決めたい。

20:25 平塚指導委員長から

- ・自分たちが行うこともいいが、周りを巻き込んでいく方法もある。大人も子どものそういった発想に協力したいと考えているところもある。川開きでも自らボランティアを申し込んでもいいし、募っている団体もある。ぜひ、視点を広げて取り組みを考えてほしい。

20:30 木村民男塾長から

- ・自分の考えを深める。他の考えを聞く。思いもつかない発想に期待したい。
- ・今年の宿泊研修は全員参加をお願いしたい。今年度の参加費は無料としたい。
- ・共通のピブスを着用して活動したい。今デザインを作成中です。

メニュー

ホーム	▼
耕人塾の活動	▼
令和2年度の活動	>
令和元年度の活動	>
平成30年度の活動	>
平成29年度の活動	>
平成28年度の活動	>
平成27年度の活動	>
平成26年度の活動	▼
第1回	
第2回	
第3回	
第4-5回	
第6-7回	
第8回	

第9回

第10回

第11回

平成25年度の活動



平成24年度の活動

報道・受賞